

任意団体 安比高原ふるさと倶楽部

入門助成

1年目

実践

安比高原における シバ草原の再生・保全活動



環境に負荷の少ない馬による作業体験会

安比高原のシバ草原の
認知度を高める普及活動

132人

検討会、フォーラム、
エコツアー、見学会の実施

5回

活動の全体目標に
対する達成度

75%

課題

1,000年のシバ草原が永続的に維持され次世代に継承されるため、より科学的・計画的な活動の実施、知名度を上げ担い手を確保するための普及啓発事業が必要である。

目標

課題を克服するための環境調査及び学術研究資料と見解を得る検討会を設置し、事業計画に基づいた活動を実施する。安比高原とシバ草原の価値や重要性・特徴を伝えるためのエコツアー及びフォーラムを実施する。

活動内容

各専門分野の研究者を招きそれぞれの見地から安比高原の歴史や特徴とその変遷、現状と様々な可能性について意見交換する検討会を実施。馬による草原化の実施調査及び見学体験会を開催。先進地域の視察及び全国の活動団体関係者との情報交換が見込める草原フォーラムに参加。都市部と地域で草原と馬をテーマにしたフォーラムの開催、自然再生参加型エコツアーの実施、活動PRのためのパンフレット作成。



馬による草原の再生保全調査

達成できなかったこと

草原の再生保全を行うための科学的データや見地が得られたが、具体的にそれを活かした事業を行う段階には至らなかった。人員と資金の確保が困難で実施計画が立てにくい。

今後の展望

作業人員確保が目下の課題であるため、会員向け及び普及啓発のために的確な情報の収集と発信を行う。

成果と工夫した ポイント



成果

安比高原とシバ草原には、環境保全、学術研究、人文社会、観光、教育、娯楽など多角的な取組みを行える素材にあふれているという認識、情報の共有や連携した取り組みの必要性を喚起できた。

工夫

近隣地域と都市部への発信の仕方を、それぞれの場で催す内容やテーマに関心や傾向に合うように行った。